

平成29年(2017年)
春号 No.106

はつらつ シルバー 人オセンター



もくじ

- “直撃インタビュー” 富澤副理事長 2
- 定時総会開催案内 3
『シルバーエイジの生きがいづくり』
役員・班長研修
- シルバーまつり 4・5
- 安全適正就業通信・理事会だより 6
- アクティブシニアフェスタ 7
接遇講習・ショップ便り
- ひろば・事務局体制 8
交通安全/救命講習会報告・編集後記

陽光をいっぱい浴び、
美しく咲き誇る「紫木蓮」の花

(摂津市ガラン堂公園)

写真は 会員・泉 恵一郎氏の提供

silver

直撃インタビュー

富澤副理事長に聞く
中期計画・福祉家事援助事業を中心に!

〔廣澤・今出 広報委員〕



シルバー人材センターの副理事長として、連日、福祉家事・シルバーショップ等を中心に大活躍の富澤秀雄さんに伺いました。
◆いつシルバーの会員になられたのですか?

◆家内の親父が、シルバー人材センターの創成期の頃、お世話になっていました、そんなご縁で65歳の時に入会し、もう今は、75歳の後期高齢世代に入りました。

シルバー人材センターの課題

◆シルバー人材センターの現在の課題は?
◆最近、どのセンターにおいても会員が主体的に運営しており、



福祉家事事業などを話す富澤さん

特に女性会員が活気に溢れていることです。女性会員が主となる日常生活支援や介護支援などに向けて、当センターも早急に女性会員の比率を30%に引き上げることが急務となっています。

◆シルバー人材センターの将来像を、どう考えておられますか?
◆もうすぐやってくる3人に1人が高齢者という超高齢化時代に向けて、国は雇用の拡大の施策を打ち出しています。特に、保育・介護分野への補助事業を進めようとしています。この分野での組織整備が求められています。

中期計画

◆中期計画が見直されたと聞きましたか?
◆第二次中期計画は平成26年〜平成30年(5か年間)までのシルバー人材センターの進むべき方向を示すものです。平成28年度は中間年に当たることから、計画の進捗状況の点検と見直しを行いました。会員の皆様には、分りやすい「ダイジェスト版」を配布しています。

福祉家事の現況

◆福祉家事の現況と方向性をお聞かせください。
◆シルバーサポートセンターを福祉家事事業の第2拠点として進めています。従来から行っているワゴンサービス(500円)を含めた福祉家事援助事業、さらには昨年の10月から始まった社協と連携した「訪問型サービスA」の事業、「ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業」など、地域と密着した事業として取り組んでいます。

さらに6月にはイオン新茨木店において「シルバーお手軽クッキング」を開催します。また新たに国が進める保育事業に対応した「地域の子どもの居場所づくり」として、全国のシルバー初となる「子ども食堂」の開設について、30年度の実施に向けて、研究と検討に入る予定です。

シルバーショップ

◆独自事業の「シルバーショップクローバー」の運営はどうですか?
◆シルバーショップは、平成26年の8月に開所し、現在2年半余りになります。開設当初は認知度が低かったのですが、今年度は、年間の目標を上回る640万円の成果を上げることができました。



ショップ1周年を喜ぶ

これは、地域の皆さんにシルバーショップが受け入れられ、アンテナショップとして啓発活動に貢献している結果だと思っています。今後は、さらに喫茶部門を強化するためモーニングサービスを実施する予定です。

◆趣味は何ですか?
◆趣味としては「俳句」を49歳の時より始め、五七五の世界にどっぷり浸かってしまい、早や俳歴26年になりました。今は、あちこちで指導をしております。

◆シルバー世代は健康が第一! 「健康は足から」を肝に銘じて、日々できる限りウォーキングをするようにしています。

◆健康は足から! 「健康は足から」を肝に銘じて、日々できる限りウォーキングをするようにしています。



シルバー人材センターを詠んだ
富澤さん自筆の句

定時総会 5月31日(水) クリエイトセンターで開催

平成29年度シルバー人材センターの定時総会を下記の通り開催します。総会は、会員全体の意思が直接反映される場として最も大切な決定機関です。

万障繰り合わせのうえご出席ください。
(欠席される場合は、議案書に綴じこみの委任状を必ず提出してください)

- 日時** 平成29年5月31日(水) 午後1時30分開会
- 場所** 茨木市・市民総合センター(クリエイトセンター) センターホール
- 案件** 平成28年度事業・決算の承認、平成29年度事業計画・予算の報告等
総会議案書・委任状は、5月10日頃に班長を通じて配布します。



▲ 養父市を紹介する久保田理事長

前日の大雪で実施が危ぶまれたものの、1月26日は抜けるような青空が広がり、島川理事長以下一行40名は但馬路を養父市シルバー人材センターへ。高齢化率が4割強と過疎が進行中ですが、会員の半数近くが女性。今後、高齢者の生活支援ニーズ増大が見込まれるなか、女性会員拡大は当茨木センター喫緊の課題。会員獲得のノウハウ取得が交流の目的です。
久保田理事長の歓迎あいさつを受け、まず披露されたのが、棒を使った健康体操「やぶからぼう体

操」。「笑い与健康お届け隊」は、高齢者の虚弱化を先送りする介護予防を目的に、地域に出向き、「健康づくり教室」を開催、隊員のコントで親近感をいだかせます。養父市シルバー人材センターが行政と提携して介護予防と取り組む全国初の事例。いずれも女性会員主体の福祉事業として、高く評価され、いまや高齢者は「福祉の受け手から社会の担い手へ」と生涯現役で社会参加が求められるなど、シルバーへの期待を実感させられる研修でした。
(川野 正照)

地域でのシルバー活動をけん引する地区委員、班長が主体となり、「シルバーエイジの生きがいづくり」と題したシルバー理念の浸透と会員増強策を実施しました。昨年、文化ホールで催した既存会員に対する理念の浸透、再確認を進化させたものです。
1月末から3月下旬まで、中央、東西南北の5会場で開催。併せて300名が参加。各地区の集客の工夫もさまざまで、高齢者に関心

「シルバーエイジの生きがいづくり」
5地区に出向いて
魅力 アピール!

参加者の4割が非会員。アンケートでは、その半数が「シルバーの活動に興味あり」と回答。こうした結果から得られた
の
高い認知症予防の講話や、市内で活躍している華やかな和太鼓演奏を企画に組み込み、またストレッチ体操やピアノでの歌唱指導などを取り入れた地区もあって、約2時間にわたり楽しんでいただきました。



▲ 参加者にセンターの役割をアピール

たアクションが、市内全域にシルバーの輪を広げていくための大きな足がかりになったと思います。
(飯倉 一史)

のは、これまでの受け身(待ち)の姿勢から、「会員を獲得しよう!」という強い意識を持ち、自ら地域に出向く能動的な啓発活動への転換。高齢者が集う機会を作り、そこへ出向いて推進する。——こうし



▲ 各地区で工夫をこらした集客策(和太鼓演奏)

まつり開催 文化作品展



子ども達に人気の着せ替えコマ

・力作ぞろいの会員作品と
のびのびとした園児の絵画。
・感動と笑いあふれた
芸達者な演芸!



力作ぞろいの作品

恒例の「会員作品展」は昨年
から「シルバーまつり」として、
市民さくらまつりと同時開催と
し、4月1・2日の2日間開か
れました。

両日とも、幼児をはじめ多数
の来場者で大盛況でした。
会員の作品と園児の絵画、餅
つき、そば打ち、クッキー菓子、缶
バッジ、手芸品の販売、コーヒー、

会員作品展 人気投票結果

入賞の皆さんは次の通りです。

- ★1位 小西 章氏
●レザークラフト
「くつ、バッグ等」
- ★2位 藪下 昌久氏
●着せ替えコマ
- ★3位 河内山良子氏
●手芸 押し花

※なお、定時総会終了後、会員
作品展の表彰も行われます。



ドナルドもびっくり!みりの幼稚園児の絵画



そば打ち名人



ムードたっぷり歌自慢



パワフルな和太鼓



笑い=健康=落語



笑いと拍手のどじょうすくい・舞踊

2017年

シルバー

第23回

ぜんざいの販売と盛りだくさんでした。

演芸コーナーでは和太鼓、のど自慢、舞踊、落語等数多くの出演があり、たくさんの拍手や笑いをいただき、会員と市民の皆さんと交流でき、とても有意義な場となりました。

(川崎 博一・橋本由紀子)

4月1・2日、市民さくらまつりに、シルバー人材センターは、恒例のぜんざいとコーヒーの販売を行いました。



前日の雨も上がり、少し肌寒い花冷えの天気

となり、さくら通りも親子連れや、はしゃぎながら通り過ぎる若者たちのグループなど徐々に人が増え始めました。ふと桜の枝を見ると、ちらほら、つぼみがほころび始め、今年のシルバーマつりは太鼓の音から始まりました。

私たちは、シルバー名物のぜんざい販売を開始。「ぜんざい如何ですか!」と元気な声で呼びかける。3人、5人と席が埋まり始め、ぜんざい

を作る手にも感謝と喜びが加

わり、熱がこもりました。すると、センターの玄関前からポーンと大音響と共に、子ども達の黄色い歓声が弾けました。どうやら、ポン菓子が始まったようでした。しばらくして、餅つきの音。また、センター内の作品展にも、シルバースター世代に混じって若い人たちもたくさん来ている様子でした。ぜんざいも好評で、お客さんに「おいしかったよ」と、笑顔もいただきました。

当番を終えると、朝より一段とほころび始めた桜が「ご苦労さん」と私に語りかけてきたような気がしました。心地良い疲れを体感じながら、帰路に着きました。

(阿辺山美智子)



コーヒー・ぜんざい販売



ふるまい餅に大行列



とび入り参加のけん玉演技



手芸同好会作品販売



子ども参加の餅つき



もうすぐ爆音! ポン菓子作り

写真持ち込み缶バッジ

御礼

今年のシルバーマつり(文化作品展)は、市が毎年開催しているさくらまつりに参加しつつ、シルバー人材センターの啓発活動として、作品展をはじめ、いろいろな催しを、会員参加型で開催しました。

多くの方のご来場をいただき、本当にありがとうございました。関係各位、地域班班長、理事の皆さんのご協力をいただき、盛会に終えることができました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

実行委員長

尾嶋柳太郎

安全適正就業通信

平成29年度

安全・適正就業実施計画



1 活動方針

事故「ゼロ」を目指し、会員の安全就業と就業途上での交通事故防止の徹底を期すとともに、会員の健康管理意識の高揚を図る。また、適正就業については、法令を遵守し、指摘を受けないようにする。

2 事故原因の究明、対策等

重大な傷害・賠償事故が発生した場合、委員会等を臨時開催し、事故原因の究明と再発防止策を検討するとともに、事故の内容について機関紙掲載またはチラシにより、会員へ注意喚起する。

3 安全就業への取り組み

7月の「安全就業強化月間」以外にも、安全・適正就業委員、安全就業推進員および事務局職員が安全指導員として、会員の就業場所へ安全パトロールを不定期・抜き打ち的に実施する。

4 安全就業基準の徹底

「安全就業基準」の遵守を徹底し、事故の未然防止に努める。遵守事項の不履行会員に対して、安全就業に関する要綱等を用い指導・改善を行う。

5 適正就業の徹底

就業の適正化推進(8項目)と、

6 会員の健康管理

自分の健康は自分で守ることを基本に、年1回は健康診断を受診するよう機関紙等を通じて呼びかける。

7 安全・適正就業委員会の開催

安全・適正就業の取り組みおよびその推進状況等について協議するため、定例の会議(6月、7月、11月、2月)および必要に応じて委員会を開催する。

また、安全就業に関わる各種講習会や、自転車事故防止・抑制のための自転車実技講習会を開催する。

(長尾 克哉)

年1回は健康診断を受診しよう!!



「元氣だ、体の調子も悪くない、ご飯も美味しい……だから心配ない! 具合が悪くなったら、その時に病院で診てもらえばいい!」
 本当にそれで大丈夫ですか?
 特に症状がないからといって健康とは限りません。糖尿病・高血圧・動脈硬化などはサイレントキラーと呼ばれる、症状が出る頃には手遅れということも。でも簡単な検査や診察で分かることもあります。それは健康診断。自分の健康を見直すきっかけにしましょう。

平成28年度 センターの事故発生状況

5月2日	傷害	就業中	落ち葉の清掃中に毛虫に刺され皮膚炎を起こす。
5月30日	傷害	就業途上	就業先へ自転車で向かう途上、道路脇の縁石につまずき、ひじ・ひざに裂傷。
7月10日	賠償	就業中	駐車場管理業務中、精算機前パー故障時、利用者の指が精算機と車のドアに挟まれてけが。
9月2日	傷害	就業途上	就業先へ向かう途上、自転車の運転操作を誤り、電柱に衝突。右脛骨高原を骨折。
9月2日	賠償	就業中	敷地内で散水作業中、走行中の原付バイクがホースにかかり転倒、全治2カ月のけがを負わせる。
9月14日	賠償	就業中	防護ネットなどの措置を講じず、刈払機による飛石で車両の窓ガラスを破損。
10月28日	傷害	就業中	調理作業中、誤って包丁で左中指に切創を負う。
11月1日	賠償	就業中	駐車場管理業務中、誤った停車位置に案内、障害物に接触させ車両を破損。
11月14日	傷害	就業途上	就業先から自転車での帰宅途上、下り坂でブレーキをかけ、雨の路面でスリップ。左手骨折。
12月22日	賠償	就業中	除草作業中、チップソー刃でガス管を破損させる。
1月16日	傷害	就業途上	原付バイクで就業先へ向かう途上、スリップして転倒。肋骨3本骨折。
1月26日	賠償	就業中	剪定作業中に、切枝を落とした際、庭園外灯を破損させる。

平成28年度

傷害事故	6
①途上	(4)
②就業中	(2)
賠償事故	6
合計	12

自転車事故 3



理事会だより

第5回理事会が1月20日に開催され、左記の報告と各委員会の報告がありました。

▼報告事項

- 諸般の報告
 - 正会員の入会について
 - 中期計画の中間報告について
 - 平成29年度会員更新について
 - 適正就業ガイドライン
- 第6回理事会が3月17日に開催され、左記の報告と3件の議案が承認されました。

▼報告事項

- 諸般の報告
- 正会員の入会について

▼議案

- 平成28年度補正予算について
- 平成29年度事業計画について
- 平成29年度収支予算について

平成29年度の事業計画・収支予算ができ上がりました。会員の一人ひとりがこの計画をよくかみしめ、各分野で元氣よく活躍していただきたいと思います。(廣澤 二元)

アクティブシニアフェスタ
『シルバー繁盛記』で
日頃の活動をアピール♪

茨木市内の高齢者福祉関係8団体が合同で運営する「茨木アクティブシニアフェスタ」が2月12日(日)、シニアプラザいばらき(桑田町)で開催されました。天気にも恵まれ、そのうえチラシ配布による事前PRも功を奏して、来場者は前年比倍増の1000名を超える記録的な数字になりました。屋内外の展示ブースや飲食・物販コーナーともに一日中、大勢の来場者であふれました。わがセンター恒例のポン菓子も作る回数を増やし、行列に應えるなど大好評でした。

午前10時、一年間の学習を終えたシニアアカレツジ「いこいこ未来塾」の閉講式でオープニング。続いて、各団体が日頃の活動状況をパネルや寸劇などで発表する第一部が開幕。



茨木シルバーセンターによる売店

当センターは『シルバー繁盛記』と題した15分のコントを披露。



会員による『シルバー繁盛記』

周囲の勧めで会員登録し仕事に就いて日常生活ががらりと変わった二組の夫婦と、周りで支える会員の姿をおもしろおかしく演出。場内の笑いを誘い、センターの役割と存在を強烈にアピールしました。

午後からは地元和太鼓チームの迫力ある演奏、健康と笑いをテーマにした講話と落語、マジックショーと目先の変わるイベントが繰り出され、来場者をくぎづけに。フィナーレを飾ったのは、新企画の「空くじなしのビンゴゲーム」。巧みな進行もあって、場内に一体感を醸すなどシニアのパワーを感じさせて、盛況のうちに散会となりました。

(川野 正照)

接遇講習を
受講して
3月24日

会員の就業開拓の接遇に関して豊中市シルバー人材センター副理事長小野勝彦氏を講師にむかえ、経験をもとに最近の市場の状況や接遇事例を分析。会員の業務に対する取り組み方や心構え等を事例を挙げて講義されました。

その中で我々会員は利用者に満足してもらうため会員自身の品質の向上が一番必要だと思えました。相手の立場に立って考えた場合、『自分を相手に置き換えて考えてみる、すなわち視線を同じ高さに

することが大切。』今回の研修で就業先から会員に求められるもの、またセンターが会員と就業先との受け渡し役を担っていることもよく理解できました。

就業開拓委員には仕事の内容の把握や苦情処理等の違った役割があることも理解できました。会員の品質についても業務に穴を開けないことが第一に重要で、それには各自の健康管理が大切です。業務にはさまざまな種類があり、自分自身が経験したことのない業務の話題が随所に出てきて興味深い研修でした。

(安藤 裕之)



シルバーショップ
「クローバー」便り

シルバーショップ「クローバー」は会員の皆様のご協力のお陰で、28年度の売上目標を達成し、640万円を超えました。

売上目標達成還元セールを、シルバー会員の皆様に左記の通り行いますので、ぜひご利用ください。

◆ 日替りランチ後のコーヒー無料
◆ 実施期間 5月15日～6月30日
(精算時、会員証をご提示ください)

「クローバー」は、女性会員の就業場所として、25人のスタッフが「元気に！楽しく！」をモットーに、毎日70～80食の食事の提供を行っています。また、450円でスタートしたスタッフの配分金も現在800円台に達し、独自事業として安定的な運営を行っています。



今年度は、モーニングサービスや子ども食堂も検討しています。新しくなる「クローバー」にご期待ください。

(上島 恵子)

皆さんの仲間
(会員数)

4月20日現在	
男	974人
女	412人
計	1,386人



会員 坂本 暁子

絵手紙

花菖蒲
風に尾びれがあるような

青空の
青を極めるこいのぼり

会員 富澤 秀雄

俳句

ひろば



2月6日、9日に交通安全講習
会が当センター会議室で開催され、
2日間で118名の会員が受講し
ました。今回は、茨木警察署、茨
木市役所道路交通課、ネクスコ西
日本の協力のもと、特に自転車の
交通ルールや事故の危険性等を教
わりました。就業中や就業途上、
日常生活で、
事故や違反の
無いように努
めましょう。



交通安全講習会

交通安全・普通救命講
習会は就業する上で必須
です!! 未受講の方や、
3年以上経過された方は
受講をお願いします。

2月21日から23日の3日間にわ
たり、救命講習会が茨木消防署4
階会議室で開催され104名の会
員が受講しました。消防本部署員
の方々より、AEDの使い方や心
臓マッサージ等のご指導をいただ
きました。各就業場所等で生かし
てください。
(渡邊 康太)

普通救命講習会

編集後記

戸外の緑が、美しい季節となり、
緑や花は、私たちの心を和ませてく
れます。
厳しい冬をじっと耐えたことを微
塵も感じさせず、凛としているよう
に思います。
シルバー世代の私たち、時間を充
実させ、それまでやり続けた仕事で
も趣味でも、なんでもいので自分
のテンポで続けることが生きる楽し
さに繋がるような気がします。
近くにいる友の病気を知り、あり
ふれた生活の中にこそ幸せがあると
思ったこの頃です。
前向きに、楽しくいきましよう。
(今出)

事務局体制

(平成29年4月1日から)

事務局長 小西 昭 事務局統括	事務局参事 飯倉 一史 事務局統括補佐
総務担当	主任 塩見 美幸 総務統括 地域班：南地区担当
	高橋 陽子 経理/総務担当 地域班：東地区担当
	大西 健夫 総務(法人会計事務)
	鈴木 正一 総務(法制文書事務)
業務担当	係長 大垣真知子 業務統括・公共業務 地区委員会・班長会議 地域班：中央地区担当
	一般・家庭業務
	主任 長尾 克哉 除草・剪定・福祉家事業務 襖/障子・何でも隊・業務統括補佐 地域班：北地区担当
	山下 邦子 福祉家事業務・新総合事業 生活支援コーディネーター
	渡邊 康太 業務担当補助 (サポートセンター・シニアプラザ事業)
公共業務	
岡田 操 公共業務	
民間企業・派遣業務	
山口 敦 民間企業・派遣業務 地域班：西地区担当	
川崎 博一 派遣業務	
独自事業	
上島 恵子 シルバーショップ業務	